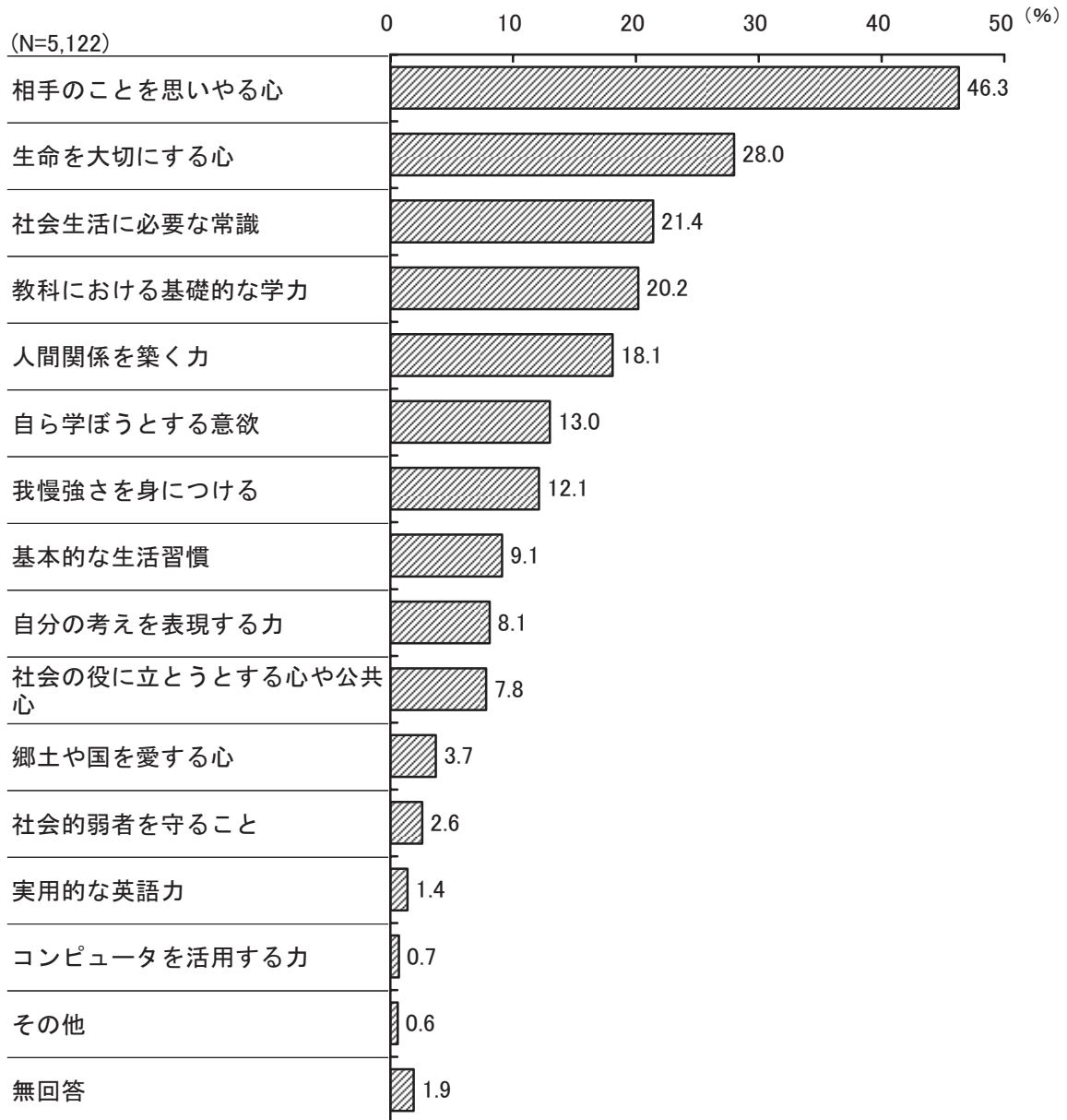


5 子どもたちの育成について

(1) 学校教育の中で身につけさせる必要があると思うこと

問10 学校教育の中で身につけさせる必要があると思うことはどのようなことですか。

(○は2つまで)



Point!

40歳代までは「人間関係を築く力」、50歳代以上は「社会生活に必要な常識」が高くなる傾向。

学校教育の中で身につけさせる必要があると思うものは、「相手のことを思いやる心」が46.3%で最も高くなっている。次いで、「生命を大切にする心」(28.0%)、「社会生活に必要な常識」(21.4%)、「教科における基礎的な学力」(20.2%)、「人間関係を築く力」(18.1%)の順で多くなっている。

●その他内訳●

- 道徳心、倫理観を教える。
- 生きる力。
- あれも、これも…と教えるのではなく、年（脳の発達）に合った教育を考えてほしいです。
- 親、兄弟を理解し、仲良くすること。但し、自分の主張ははっきりと述べること。
- 加害者にならないこと。
- 学校の中の教育なので、先生を尊重し、謙虚さを学ばせる！
- 競争心。
- 交通マナー。
- 答えのない問題について「思考」する力。「考えさせる」習慣。
- 自己肯定感を持たせること。自信をつけてあげること。
- 自分自身を客観的な目（第三者）で冷静に見れること。
- 自分と他人の違いを認識する力。
- 自分を知ること。
- 社会人として生きられる土台の力を身に付けること。
- 社会の一員として、働く事の重要性。
- 集団の中に身を置く力。
- 情報を選択する力。
- 正しい心。
- 他人（人）を認めること。
- 知力、徳力、体力。
- 人はみんな違うから楽しい。個を尊重する心を第一に育てたい。
- 人を愛すること。
- 幼児期にもっとモラルの教育を。

…など

【性・年代別】

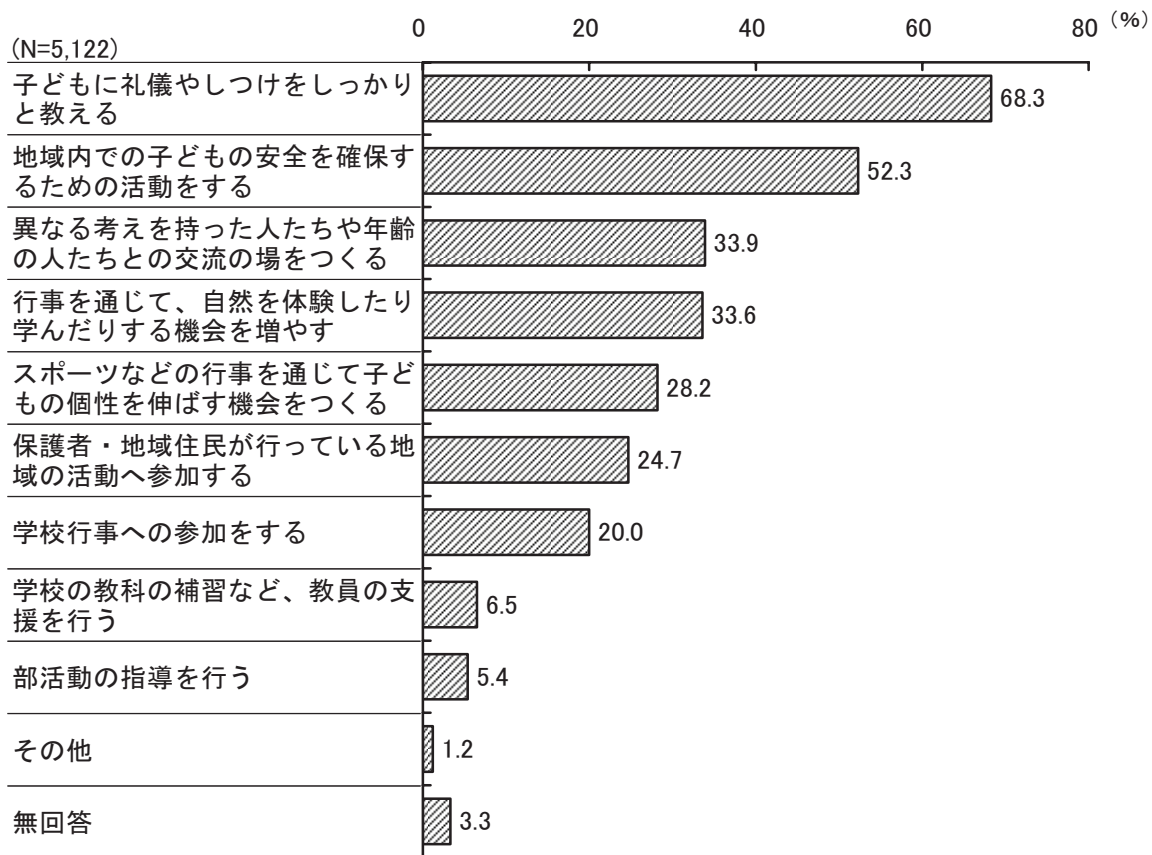
(単位：%)

		調査数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
10歳代	男性	30	相手のことを思いやる心 43.3	社会生活に必要な常識 30.0	生命を大切に する心 23.3	人間関係を築く力 20.0	自分の考えを表現する力 16.7
	女性	42	相手のことを思いやる心 47.6	人間関係を築く力 26.2	社会生活に必要な常識 19.0	自ら学ぼうとする意欲／我慢強さを身につける 16.7	
20歳代	男性	173	相手のことを思いやる心 48.6	人間関係を築く力 29.5	生命を大切に する心 27.7	教科における基礎的な学力 16.8	自分の考えを表現する力 16.2
	女性	243	相手のことを思いやる心 46.1	生命を大切に する心 30.9	人間関係を築く力 26.7	社会生活に必要な常識 21.4	教科における基礎的な学力 16.0
30歳代	男性	283	相手のことを思いやる心 54.4	人間関係を築く力 26.5	生命を大切に する心 25.4	教科における基礎的な学力 18.7	社会生活に必要な常識 15.5
	女性	381	相手のことを思いやる心 44.4	教科における基礎的な学力 28.6	人間関係を築く力 28.3	生命を大切に する心 23.4	自ら学ぼうとする意欲 17.1
40歳代	男性	281	相手のことを思いやる心 44.5	生命を大切に する心 25.6	教科における基礎的な学力 25.3	人間関係を築く力 24.9	社会生活に必要な常識 19.6
	女性	387	相手のことを思いやる心 42.4	人間関係を築く力 33.6	教科における基礎的な学力 28.4	生命を大切に する心 24.8	社会生活に必要な常識 17.1
50歳代	男性	426	相手のことを思いやる心 48.8	社会生活に必要な常識 24.9	生命を大切に する心 22.3	教科における基礎的な学力 20.0	人間関係を築く力 13.6
	女性	534	相手のことを思いやる心 44.8	生命を大切に する心 28.8	教科における基礎的な学力 23.2	社会生活に必要な常識 22.7	人間関係を築く力 20.2
60歳代	男性	461	相手のことを思いやる心 52.1	社会生活に必要な常識 31.5	生命を大切に する心 24.7	教科における基礎的な学力 16.9	我慢強さを身につける 11.9
	女性	574	相手のことを思いやる心 41.8	生命を大切に する心 28.2	社会生活に必要な常識 26.0	教科における基礎的な学力 22.6	基本的な生活習慣 13.6
70歳代以上	男性	443	相手のことを思いやる心 44.5	生命を大切に する心 32.3	社会生活に必要な常識 19.9	我慢強さを身につける 17.2	教科における基礎的な学力 16.3
	女性	607	相手のことを思いやる心 48.4	生命を大切に する心 36.7	社会生活に必要な常識 20.1	我慢強さを身につける 17.8	教科における基礎的な学力 13.7

性・年代別にみると、性・年代にかかわらず、「相手のことを思いやる心」が最も高く、4～5割となっている。また、「生命を大切にする心」は2～4割でどの年代においても上位を占めている。他に、10歳代から40歳代までは「人間関係を築く力」が、50歳代以上では「社会生活に必要な常識」が2～3割を占めて上位にある。

(2) 学校教育の中で保護者及び地域の人たちができること

問 11 保護者及び地域の人たちとの連携は、特に学校教育の中で重要です。保護者及び地域の人たちができることは何だと思いませんか。(〇はいくつでも)



Point!

20歳代から40歳代の女性では「礼儀やしつけ」と「子どもの安全」がともに6割以上。

学校教育の中で保護者及び地域の人たちができることは、「子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える」が68.3%と7割弱の人があげており、最も高くなっている。次いで、「地域内での子どもの安全を確保するための活動をする」(52.3%)、「異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる」(33.9%)、「行事を通じて、自然を体験したり学んだりする機会を増やす」(33.6%)の順となっている。

●その他内訳●

- 保護者が学校を信頼すること。
- 保護者自身が礼儀や常識を持って子どもを教育してほしい。
- 子どもに教育する前に、大人が自分の行動、言葉の使い方、勉強し直してほしいです!!
- 道徳教育の充実。
- 教員への尊敬と信頼。保護者が悪い。子どもの父母に甘えがある。
- 教師が本来の「教える」という仕事に力を注げるような環境を作る。また、それを理解するように努める。
- 親がワガママでなければよい。テレビであげられている、給食費やその他、色々な問題を起こさない事。
…など

【性・年代別】

(単位：%)

		調査数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
10 歳代	男性	30	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 50.0	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 40.0	異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる／スポーツなどの行事を通じて子どもの個性を伸ばす機会をつくる 30.0	学校行事への参加をする 23.3	
	女性	42	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 61.9	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 50.0	異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる 35.7	スポーツなどの行事を通じて子どもの個性を伸ばす機会をつくる／学校行事への参加をする 28.6	
20 歳代	男性	173	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 63.6	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 53.8	異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる 36.4	スポーツなどの行事を通じて子どもの個性を伸ばす機会をつくる 34.1	行事を通じて、自然を体験したり学んだりする機会を増やす 28.9
	女性	243	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 65.8	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 60.9	異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる 46.1	スポーツなどの行事を通じて子どもの個性を伸ばす機会をつくる／行事を通じて、自然を体験したり学んだりする機会を増やす 33.3	
30 歳代	男性	283	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 70.0	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 52.3	異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる 33.9	スポーツなどの行事を通じて子どもの個性を伸ばす機会をつくる 30.4	行事を通じて、自然を体験したり学んだりする機会を増やす 26.5
	女性	381	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 65.6	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 62.7	異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる 44.6	行事を通じて、自然を体験したり学んだりする機会を増やす 36.0	スポーツなどの行事を通じて子どもの個性を伸ばす機会をつくる 32.0
40 歳代	男性	281	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 66.9	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 52.0	スポーツなどの行事を通じて子どもの個性を伸ばす機会をつくる 33.8	行事を通じて、自然を体験したり学んだりする機会を増やす 29.2	異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる 26.0
	女性	387	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 63.6	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 61.0	異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる 37.2	行事を通じて、自然を体験したり学んだりする機会を増やす 35.1	学校行事への参加をする 27.9
50 歳代	男性	426	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 66.7	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 47.9	行事を通じて、自然を体験したり学んだりする機会を増やす 32.6	異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる 32.2	スポーツなどの行事を通じて子どもの個性を伸ばす機会をつくる 29.6
	女性	534	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 62.0	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 53.7	異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる 42.5	行事を通じて、自然を体験したり学んだりする機会を増やす 34.8	保護者・地域住民が行っている地域の活動へ参加する 31.1

Ⅲ 調査結果

		調査数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
60 歳 代	男性	461	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 72.9	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 46.6	行事を通じて、自然を体験したり学んだりする機会を増やす 36.2	異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる／スポーツなどの行事を通じて子どもの個性を伸ばす機会をつくる 26.2	
	女性	574	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 71.3	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 53.1	行事を通じて、自然を体験したり学んだりする機会を増やす 39.5	異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる 35.5	保護者・地域住民が行っている地域の活動へ参加する 31.4
70 歳 代 以 上	男性	443	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 74.9	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 49.2	行事を通じて、自然を体験したり学んだりする機会を増やす 32.7	スポーツなどの行事を通じて子どもの個性を伸ばす機会をつくる 26.9	保護者・地域住民が行っている地域の活動へ参加する 25.7
	女性	607	子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える 73.6	地域内での子どもの安全を確保するための活動をする 45.3	行事を通じて、自然を体験したり学んだりする機会を増やす 32.9	異なる考えを持った人たちや年齢の人たちとの交流の場をつくる 28.7	スポーツなどの行事を通じて子どもの個性を伸ばす機会をつくる 24.7

性・年代別にみると、40歳代女性を除いて、いずれの性・年代においても「子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える」が5～7割を占めて最も高く、次いで「地域内での子供の安全を確保するための活動をする」が4～5割となっている。40歳代女性では「地域内での子供の安全を確保するための活動をする」(63.6%)、「子どもに礼儀やしつけをしっかりと教える」(61.0%)がともに6割以上で高くなっている。